

CEE ワークショップ

「再生可能エネルギー発電導入のための気象データ活用」 プログラム

再生可能エネルギーは、将来の我が国の主要な供給電源の一つとして期待されているが、これらの大きな割合を占める太陽光発電、風力発電は日変化や気象現象によりその出力が変動する。このため、電力システムの経済的、安定的な運用の実現には新たな技術、その技術を活かすための制度および運用ルールを整備が必要である。このような状況の中で、発電出力予測・把握技術は今後の再生可能エネルギー発電の導入において重要な役割を担うことが期待されている。

この発電出力予測・把握技術の確立に向けては、太陽光発電、風力発電、電力システムに代表される再生可能エネルギーに関連する工学と、自然科学である気象学という2分野の産・学・官の連携と、我が国においては気象庁に代表される国・社会のインフラと様々なデータの活用が重要となる。本ワークショップでは、様々なステークホルダーの参加により、今後の再生可能エネルギーの大量導入を実現するための、組織間の連携とインフラ・データ活用に向けた議論を行う。

主 催：東京大学 エネルギー工学連携研究センター(CEE)

協 賛：太陽エネルギー学会、一般財団法人日本気象協会、一般社団法人日本風力発電協会、

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、JST/CREST/EMS 研究領域

日 時：2014年3月25日(火) 13:00～17:30 (終了後～19:30 意見交換会)

会 場：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール：駒場Ⅱリサーチキャンパス An 棟 2 階

*詳細は CEE HP において掲載中。<http://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/>

プログラム

13:00～13:10	開会挨拶 趣旨説明	東京大学 生産技術研究所 特任教授 荻本和彦
13:10～13:20	気象分野からの再生可能エネルギー拡大への貢献	気象庁 参事官 隈 健一
13:20～13:50	気象庁による発電予測に関する取り組み	気象庁気象研究所 室長 山田芳則
13:50～14:10	太陽光発電の発電予測技術概要	産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター 主任研究員 大関 崇
14:10～14:30	風力発電出力予測技術の現状と課題	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 新エネルギー・開発課 課長 早崎宣之
14:30～14:50	民間気象会社による発電予測技術概要	日本気象協会 事業本部 環境事業部 部長 滝谷克幸
14:50～15:10	衛星観測から準リアルタイムで推定した日射量の可用性について	東海大学 教授 中島 孝
15:10～15:25	休憩	
15:25～15:55	電力会社における発電予測ニーズ	中部電力 電力技術研究所流通G長 杉本重幸
15:55～16:15	発電事業者における発電予測ニーズ	日本風力発電協会 企画局長 斉藤哲夫
16:15～16:35	スマートコミュニティにおける発電予測ニーズ	東京大学 生産技術研究所 准教授 岩船由美子
16:35～16:50	休憩	
16:50～17:10	発電予測技術の今度の展開	NEDO 新エネルギー部 統括研究員 岩田章裕
17:10～17:30	気象庁数値予報の現状と展望	気象庁 数値予報モデル開発推進官 多田英夫
終了後～19:30	意見交換会	

以 上